



2022年3月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日(月刊定価1部60円)
(購読料はYMCA会費に含まれています)
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 中島成美

YMCA News



シリーズ 名古屋YMCA120周年

今までと、これからの想い

公益財団法人名古屋YMCA 理事 **オルソン キクチ 三恵**

1月15日、中央教会で120周年記念礼拝と式典がありました。キャンプソングを歌うなど昔を懐かしむノスタルジーが垣間見えた集いだったという感想もあったようですが、私は、体を思い切り動かしながらリズムにのって歌う現役リーダーの後ろ姿を見ながら今も昔も変わらないYMCAに流れるスピリットを感じました。120年とは、昔の人の寿命の2倍、ひと昔前の1.5倍、今ではそれぐらい生きられるのではないかとされている年月です。一人生を終えて、次に向かう名古屋YMCAっていうところでしょうか。

名古屋YMCAは2015年に池下に本館が移り、2017年10月に日本全国のYMCAのロゴが「YMCAの赤三角」から「ポジティブY」のデザインに変わりました。アルファベットのYに、これまでの赤三角形の「スピリット・マインド・ボディ」を残しながら、新しいスローガンの「みつかる。つながる。よくなっていく。」がそのロゴに込められています。

名古屋YMCAとの出会いは、臍げに覚えているのが小学校2年生の時の鹿子公園での飯ごう炊さんと、上前津でのバザーと、九頭竜のキャンプです。そして、はっきり覚えているのが小学6年生の時にバスケットボールYMCA大会で、一回戦負けして悔しい思いをしたことです。その後、本格的に関わったのが、1986年から名古屋YMCAでスタッフとして働いた3年間です。1991年にはアメリカのミネソタ州のミネアポリスでスポーツ施設(素晴らしい施設でした!)の利用会員を一年間経験しました。2006年頃から明比牧師(新人研修の時に担当牧師)を継いで、名古屋YMCAの役員になって16年経ちます。

大学で小原國芳先生の全人教育を学び、YMCAではベビーから成人まで運動指導を中心にウエルネスの考えを深め、アメリカではK-12(幼稚園から高校生)のカリキュラムと指導法を勉強し、帰国してからはキリスト教精神の高校で保健体育の教員



1986年春のスキーキャンプ(山田牧場にて)



を、そして今、国際バカロレアのカリキュラムを実践しているインターナショナルスクールで中高校生と向き合っています。どの期間も私にとって貴重な時間で学びの多い時間でした(す)が、現在、さかんに言われているウエルビーイング、アクティブラーニング、ディファレンシエーション、インクルーシブなどは、30年以上前のYMCAで行われていたことで、私の根っここの部分になっています。私は今学校で、バスケットやバレーボール等がYMCAで作られたように、生徒たちが新しいスポーツを作るといった授業や、一人の生徒がコーチになってプランをたてて、一人の生徒を教えるといった授業をしたりしています。授業外ではSDGsに向けて生徒たちがやりたいことをプランして実行し振り返ったり、興味のあることにボランティア活動や募金活動をしたりしていますが、そのようなこともYMCAでの活動と重なります。気がつく結構長い間、教員生活をしていましたが、私にはYMCAのスピリットが脈々と流れています。

私の周りにはたくさんの素晴らしいスタッフ、リーダーたちがいました。そしてその方々がYMCAを離れて多方面で活躍しています。YMCAの精神は、それぞれの場所で着実に根を下ろしています。だから、このままでも良いのですが、しかし、この名古屋YMCAに一人一人がまたつながったら、ものすごく大きなエネルギーになり、これからの日本や世界が抱えているさまざまな問題の解決に向かっていけるのではないかと思います。一人ではできないことを、YMCAに人が集まり、折り、行動していくことは、まさしくイギリスで始まったYMCAの原点であり、「みつかる。つながる。よくなっていく。」の現在のスローガンです。

今、YMCAと少し距離をとっている方、YMCAと離れてしまった方、もう一度、つながりませんか？



2022名古屋YMCAむつき朗読会

1月13日(木)・27日(木)に、朗読講座のミニミニ発表会「2022名古屋YMCAむつき朗読会」を行いました。

感染症の流行により約2年ぶりの朗読会ということで、念願かなっての機会となりました。

生徒のみなさん一人ひとりが、語り手と聴き手の創造世界を作り出す素晴らしい朗読を披露。27日にはパワーポイント、BGM使用で楽しい作品表現もありました。

新老人の会・ゆずり葉の会からもお客様をお迎えし、和気あいあいとした雰囲気の中、豊かな言葉の世界に浸りました。両日とも最後には講師朗読を行っていただき、近藤先生の表現力に魅了されました。

(報告：中原 早紀)



ピンクシャツデー報告

2022年のピンクシャツデーは、「傍観者にならないために、相手の立場に立って考えよう～困っている人がいたら、どうする?～」をテーマとし、多くの方にご協力をいただいて活動することができました。

新たな試みとして、大学生リーダーたちが身近にある出来事を元にショートムービーを作成。幅広い年齢の子どもたちに伝わりやすい内容で、子どもだけでなく、家族でもていじめについて考えられる題材となりました。

名古屋YMCA本館のアフタースクールFun!では、日本YMCA同盟主催の『いじめを考える子どもかいぎ「一人ひとりをたいせ

つに』』にオンラインで参加。自分たちがピンクシャツデーについて取り組んできた内容をまとめ、全国の子どもたちへ発表することができました。初めて会うYMCAの仲間とつながることもできた貴重な機会でした!

そして各館では、「困っている人がいたらどうする?メッセージカード」に、沢山の心のこもったイラストや温かい言葉を書いていただき、とても嬉しく思います。

また、ピンクシャツデーにご賛同・アクションをいただきましたワイズメンズクラブや地域の皆様、企業の皆様、ありがとうございました。今後とも思いやりのあふれる社会を目指し、YMCAはピンクシャツデー活動を続けていきます。

(報告：中島 成美)



2021年度クリスマス献金報告

今年度のクリスマス献金は使途を具体的に打ち出すことによって「それなら募金しよう」と思っていただけの表現にしました。1つ目の「青少年育成」は、ユースボランティアの育成、学童キャンプの貧困児童対策、保育園開設による子育て支援を行います。2つ目の「国際協力」では、日本YMCA同盟とおおの海外支援、名古屋YMCAによるフィリピン・アルバイYMCAの支援、日韓ユースセミナー・日中韓ピースセミナーの支援、日本語学校の留学生支援を行います。3つ目は「地域奉仕活動」としてクリスマスカードコンテスト、クリスマスキャロ

ル、中学生バスケットボール大会の支援、地域の関係団体との共働としました。

今年度は初めて『クリスマスカード交換プログラム』を実施しました。クリスマスカードコンテストの絵が描かれているカードを1枚300円で購入していただき、その益金をクリスマス献金としました。そしてクリスマスには誰かからのカードが届き、コンテストの趣旨である「平和の使者」となりました。今後も創意工夫によって私たちの想いを届け、募金活動に繋がってきたいと思います。

(報告：中井 信幸)

募金総額 **632,987円**

この春に、YMCAを卒業・卒園していく方々より メッセージをいただきました。



ハムハムリーダー

(山口 きらりさん)



ハムハムリーダー：写真左

ハムハムリーダーは大学生リーダーとして4年間「野外活動アース」で活躍。

この4年間で振り返ると本当にたくさんの思い出があります。辞めたくなったこと、辛くなったこともありましたが、でも、それ以上に新しい経験や得るものがたくさんありました。

野外活動の中では火つけ、登山、ヨット、スキー。子どもの発見と一緒に感動し、三役として全体のことを考え、年少さんからワイズの方まで、幅広い年代の方と関わったり、ここでしかできないたくさんの経験をすることができました。

そして隣には、笑顔でキラキラな子ども

たち、共に頑張ってきたリーダー、支えてくれたスタッフさんがいつも側にいてくれました。4年間続けられた理由は、一緒に頑張る仲間がいたからです。楽しいときも辛いときも一緒に過ごした仲間は一生の友達となりました。“YMCAに入ってよかった”心からそう思います。

4月からは教師として、このYMCAで学んだことを活かし、自然と触れ合える授業を行い、思いやり溢れる子どもたちを育てていきます。

三谷 愛さん

(こひつじ保育園児 三谷 嶋さん保護者)



愛さん：写真左 嶋さん：写真右

三谷さんは保育室で2年間、娘さんの成長を共に喜び、分かち合ってきました。

ある日、いつものように夕食を終え、お風呂へ入る前に娘と遊んでいると、「あ〜お〜ば〜が〜き〜ら〜き〜ら〜」聞き慣れない歌を口ずさむ娘。歌詞がまだうろ覚えのようで、なんだかあまりよく聞こえません。娘になんの歌か尋ねると、「あさひがぱっとだよ。ほいくえんてうたったの!」どこかで目にしたことがあるような曲名…と、ふと思い出し、保育園からのおたよりに載っていた今月のうたを見て納得。口ずさんでいたのは、月替りで保育園で歌っている賛美歌の一

節でした。私の知らない歌を娘が自分から歌いだす姿を見たのはその時はじめてで、その成長に感動したことを覚えています。

それからというもの、毎月の賛美歌を娘に教えてもらい、家で一緒に歌詞を覚えて歌うことが我が家のささやかな楽しみになりました。

卒園まであと残りわずかになりましたが、これからも、こひつじ保育園での楽しく温かな時間を思い出して、娘との大切な時間にさせていただきます。

総主事コラム

スポーツの力

北京2022オリンピックが閉幕しました。最終日の女子カーリングの一手一投足から目が離せず、感情を共有された方も多数おられるのではないのでしょうか。多くの感動を生んだ名場面が生まれ、改めてスポーツの持つ素晴らしさを感じることができました。多大な労苦を惜みず、果敢な挑戦をされたオリンピックのみなさんに心より敬意を表します。一方、不条理な未成年に対するドーピングが疑われ、採点基準やスタートのフライング、ルールの曖昧さによる不可解な判定など納得のいかない場面が多く見られたことも今回の特徴でありました。4年間の真摯な取り組みが、一時の判断により台無しにされる選手の心情を慮ると遣る瀬無い気持ちになります。スポーツを取り巻く環境を公明正大なものにするのは大人の責任。平等に送り出したはずの選手団なのに、メダ

リストだけに特化した出迎えや報道。怪我のリスクの高い技への挑戦を美化し、怪我を回避するようなルール改正を行わない怠慢。科学技術の導入により防ぐことができる誤審等、冬のスポーツには改善点が多数あるように感じました。

YMCAが行うユーススポーツには、次の5つの目的(5 Goals)が定められています。Fun、Fair Play、Fitness、Skill、Value。いつの時代にあっても主体的(Fun)に学ぶこと以上に教育的効果を見出すことはできません。対戦する相手をリスペクト(Fair Play)しない限り、ルールは荒唐無稽なものになります。発育・発達(Fitness)に応じて技術(Skill)の習得度を考慮しないと怪我に繋がります。YMCAがスポーツを行う意義は、人格形成(Value)そのものです。目指すは、競争社会ではなく共走社会。他の競技者のチャレンジを認め、讃え合うスポーツでありたいと願います。

(中村 隆)



Winter Program Snap Shot

今年度の冬もスキーキャンプ、デイプログラムなど、子どもたちの笑顔がいっぱい！元気のあふれる冬でした。春休みも引き続き楽しいプログラムが沢山待っています。みなさんのご参加を、ぜひお待ちしております！



快晴でスキーを満喫～



はじめてのスキー！楽しかったよ



学童仲良しコンビ♪



クラフトに挑戦！



雪の外遊びは特別な思い出



お友だちと一緒にきめポーズ！

維持会員感謝・ご寄付感謝

維持会員(継続) (2022年1月29日～2022年2月28日)

相馬 静香 加藤 朱美 山村 喜久 斉藤 典子

賛助会社(継続) ホーユー株式会社

〈寄付金〉

国際協力募金 八木 武志

クリスマス献金 相川 颯 野田 柚貴

名古屋YMCA創立120周年記念募金

八木 武志	阿部 一雄	山本 徹	原田佳恵子
清田 真美	柴田洋治郎	浅野真紀子	渡辺 孝
三牧 勉	林 敦子	磯部 徹	高橋 栄一
義井 裕子	加藤 明宏	岩瀬 康彦	カソキチ三恵
渡辺 真悟	川本 龍資	神野 啓子	木本精之助
藤田 瑠美	谷川 修	加藤 京子	平井 真希
義井 裕子	河部 薫	橋爪 良和	大島孝三郎
福田 義正	小宮山里奈	長谷川和宏	山崎 聖子
三枝 隆	和田 芳子	都築 正和	神野 啓子

ワイズコーナー 3月例会の予定

名古屋	3月8日(火) 19:00～	卓話 講師：椿 佳代氏	名古屋YMCA (ZOOM併用)
名古屋 東海	3月10日(木) 18:45～	メンバー 3分間スピーチ	名古屋YMCA
名古屋 南山	3月10日(木) 18:00～	「かりやYMCA 保育園について」	かりや YMCA保育園
名古屋 グランパス	3月3日(木) 20:00～	メンバー卓話 「山本五十六 翼の帰還」 原 晃 氏	オンライン例会 (ZOOM)

早天祈祷会

3月1日(火)朝7:45～8:30 名古屋YMCA5Fチャペル
4月5日(火)朝7:45～8:30 名古屋YMCA5Fチャペル

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAつさと	052-823-2021



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2021年度聖句

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」

(ヨハネによる福音書15章5節)